

2026.10.06

ウィズダイバーシティ有限責任事業組合

障害者雇用分科会



ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）組合概要



ウィズダイバーシティには
日本全国から

4 都府県 **20** 企業が参加



名 称：ウィズダイバーシティ有限責任事業組合(LLP)

住 所：東京都渋谷区千駄ヶ谷3-54-15 ベルズ原宿ビル

設 立：2019年4月（設立7年目）

算 定：2020年4月（算定特例活用6年目）



ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）の仕組み



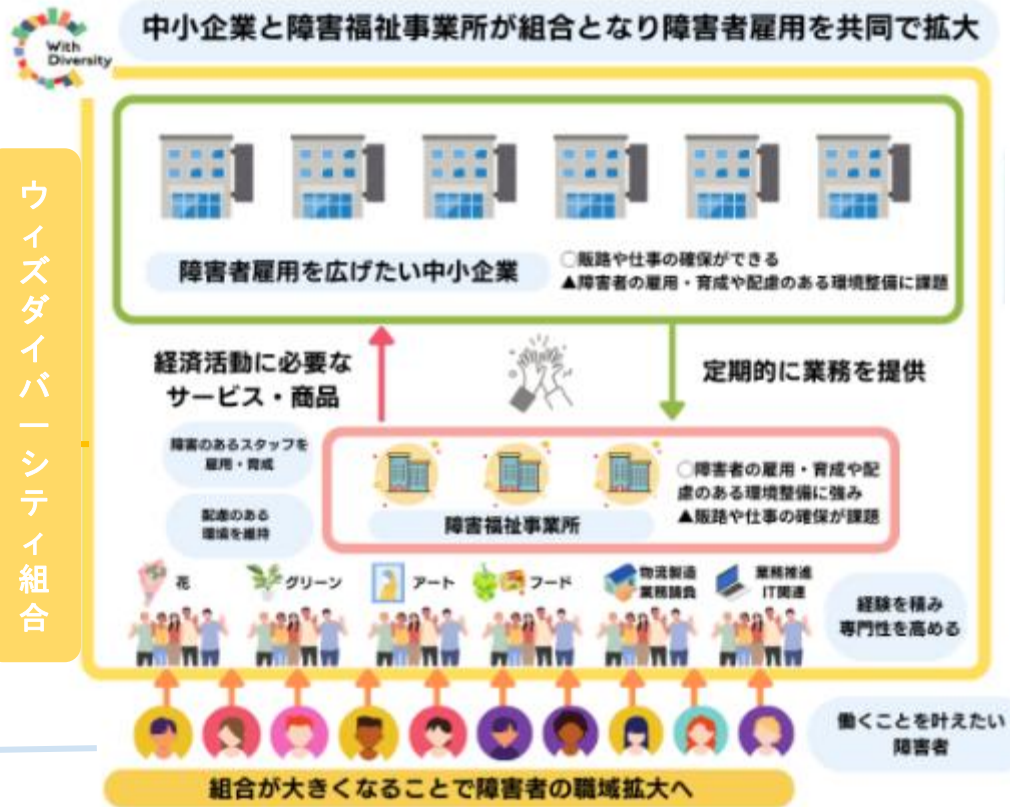
企業は、障害福祉団体(A型事業所)のサービス購入を通じて、共同で雇用を作る

算定特例制度適用

企業と障害福祉
団体(複数企業)
を障害者雇用上
でグループ合算

ウィズダイバーシティ組合

未就労障害者
356万人
(手帳保持者84%)



中小企業
17社

福祉事業所
3社

合計
20社

一般企業で就労が難しい
週20時間未満の
働き方から就労可能

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）の仕組み



企業は、障害福祉団体(A型事業所)のサービス購入を通じて、共同で雇用を作る

雇用促進活動の結果として

組合全体で
法定雇用率以上の雇用へ

組合全体の障害者の雇用数
(カウント数)

213.5人

4082.5人

組合全体の
算定基礎労働者数

組合の実雇用率

5.23%

※2026年6月1日現在

新規雇用の創出

新たに障害福祉事業者に
創出された
障害者の雇用数

35人

新たに障害福祉事業者から
一般企業に就職した障害者数

78人

※組合創設2019年度から2025年度までの実績

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）組合内 発注ルール



①事務局費(共同雇用費)

組合に事務業務を発注：

5万円/月×必要障害者数

②業務発注

障害福祉事業所にサービス・商品を発注：

25万円/月×必要障害者数 =同額の成果物受取

企業からの発注が障害当事者の給与に充当され、障害者雇用が可能となるための発注ルールを組合独自に設定

発注を促す事務局の役割

- ・ 提供サービスの充実
提供可能なサービスを一覧にし、依頼できる仕事がイメージできるようにサポート
- ・ 発注内容の決定をサポート
 - ①年間発注計画の初期設計・発注シュミレーションを作成
 - ②毎月の発注状況の管理報告・発注促進
- ・ 新規のサービス調整
サービスにない業務相談を企業から受け、障害福祉事業所と調整・業務開始サポート

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）発注業務・サービス



金額の50%以上を目安とし障害者の給与に充当されるサービスで全体を構成

花



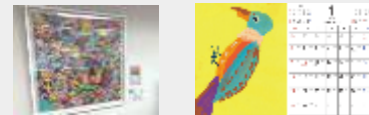
フード



ビジネスサポート



アート・クリエイティブ



農産物・食品



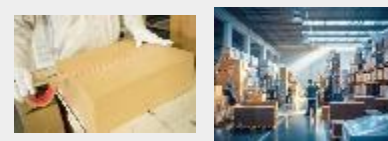
ヘルスケア



グリーン



軽作業



企業は、60種類のラインナップから商品・サービスを選ぶことができる

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）参加企業の事例：A社



ブランドの世界観を彩るフラワー装飾と、価値ある障害者雇用創出の両立を実現

業種：小売業 | 自社雇用数：8名 共同雇用数：3名 | 算定特例開始：2023年

参加の背景

- 自社雇用推進の難航: 業務の切り出しの難易度が高く、必要障害者雇用数が5名不足していた。
- 定着率低下の懸念: 適切なサポート体制がなく、採用後の早期離職が課題になっていた。
- 法定雇用率の引き上げ: 段階的な雇用率アップに伴い、従来の採用方法では限界を迎えていた。

組合参加の決め手

- ビジネスで本当に必要な物品・サービスの発注を通じた障害者雇用の創出が可能と考えた。

組合参加後の変化

- 社内に障害者雇用が浸透し自社雇用障害者数が**4人増えた**。
- 就業規則に新たに**通院休暇を設計**し環境整備を行い、自社雇用障害者の定着率が上がった。
- 店舗での障害者採用を開始し活躍の場を広げた。

具体的に発注している業務・活用方法

- 販売するドライフラワーギフトの制作・販売
- 店内・商品のフラワーの製作・セッティング等の空間装飾
- 本社・店舗のレンタル観葉植物や花のアレンジメント
- 日比谷公園の花壇の継続的なメンテナンス業務
- 社内ミーティングのランチとしてお弁当製造

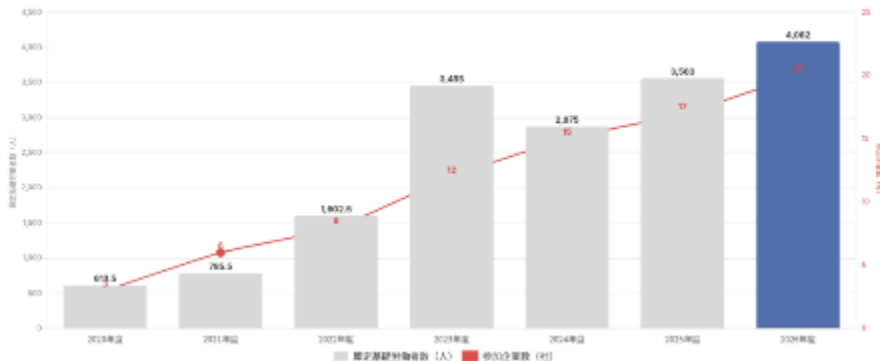


ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）組合規模 推移

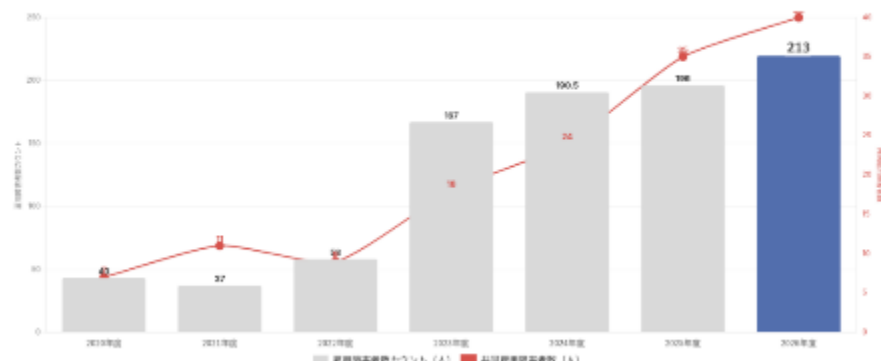


算定基礎労働者数 **4,082名** / 参加企業数 **20社** — 2026年6月1日時点

共同雇用障害者数 **213名** — 実雇用率 **5.23%**



※ 2020～2025年度は月平均、2026年度は2026年6月1日時点の数値



※ 2020～2025年度は月平均、実雇用率は2026年6月1日時点の数値

- 参加する中小企業数は増加している
※2024年度の減は①企業の従業員増により要件が満たせなくなったため
②自社雇用の体制ができたための退出が理由

- 障害者雇用をすでに達成している企業も、理念に共感して参加した

- 組合全体の障害者雇用数は増加している

- 業務発注をきっかけとし中小企業での自社雇用も促進進んでいる（右図）

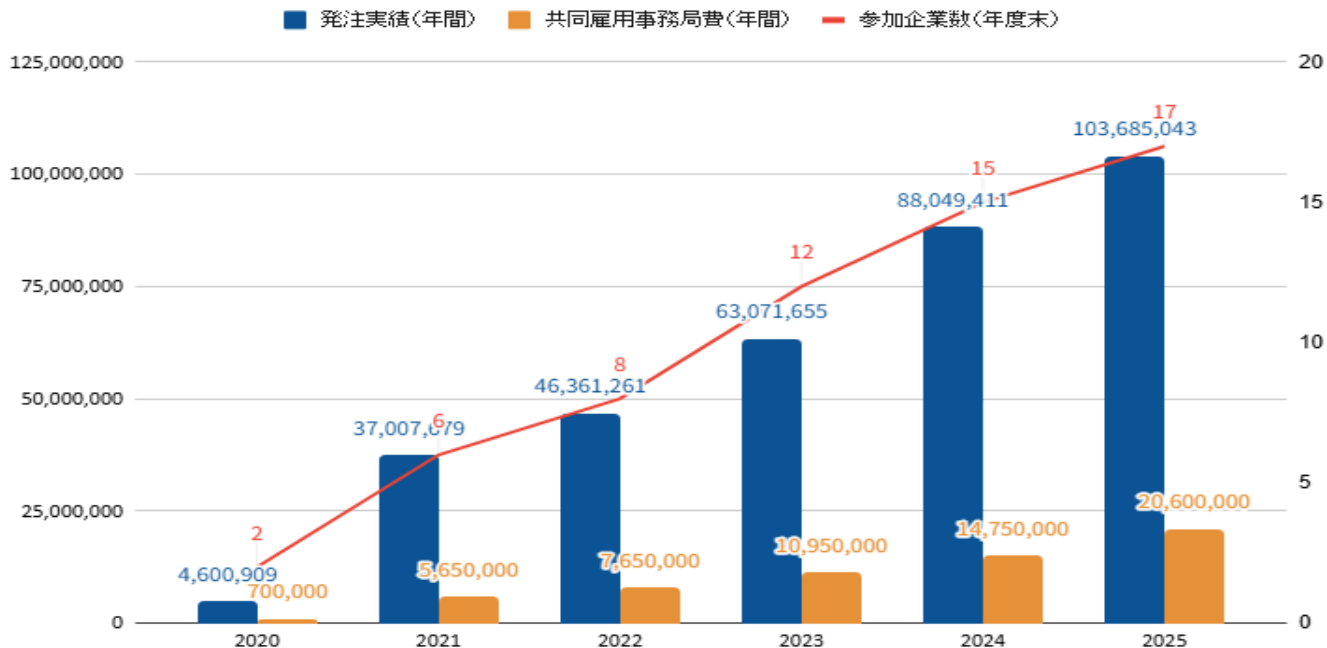
参加の中小企業の自社雇用数（福祉事業者を除く）

年度	新規採用障害者数	累計
2019	0	0
2020	0	0
2021	1	1
2022	4	5
2023	10	15
2024	6	21
2025	8	29

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）組合発注額 推移



福祉事業所への発注実績(障害者給与を捻出) **1億円以上** / 共同雇用事務局費 **2000万円以上** -2025年度



- ・ 参加する中小企業数増に応じ、障害者雇用創出のための業務発注が増加
- ・ 組合事務局費増により、組合雇用の障害者増員が実現(2名)。その他、認知拡大の広報活動や組合企業人事部向け勉強会を開催

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）の勉強会



毎年6-7月に組合報告会・働く障害者の仕事発表会を実施

障害者雇用を「数だけの話」にしない - 働く当事者の成長と、共同雇用のこれからを伝える勉強会

※障害者雇用を取り巻く状況、発注により生まれる障害当事者の仕事発表、組合の取組や方針の共有、当事者の仕事見学

グリーン部門スタッフ：Cさん～植物を観察する力を磨き、庭師を目指す



第一部 10:00 - 11:00

組合参加企業のみ

2025年度 組合決算報告

新規参加企業ご紹介

組合方針について

写真撮影

第二部 11:15 - 16:30

組合外企業参加あり

福寿講演：障害者雇用の現状と私たちの向き合い方

障害当事者による発表

ランチ交流会

ローランズ原宿見学ツアー／障害者雇用相談会